



# 元気に大遠忌参拝

少年を対象とした親鷺聖人750回大遠忌法要行事「子どものつどいin本願寺  
～本願寺キッズサンガ・児童念仏奉仕団～」が、1泊2日の日程で3回にわたり開催  
された。7月29日・30日、125人の和歌山教区の子どもらが元気に参加した。

わかやまっ子  
本山に集合



鷲森テレホン

# 紙上法話

柳岡直樹  
(御坊組常照寺衆徒)



おつて下さるのだから仏様のお徳そのものを頂いているということになります。私の持っている徳は全く

あるおばあちゃんがおりまして、顔をあわせるといつも僕にこうおっしゃられるんです。「にいちゃん、いつも修行して偉いな。何処で修行してきたん？」そういわれますから、僕はいつも「おばあちゃん、実は浄土真宗に修行は無いんですよ。修行は無いんだけど修行に勝るお念仏がある。これが浄土真宗です。修行というのとは何かというと、自分の持っている能力や功績や善い心で仏様に近づいていく。これが修行です。逆にお念仏というのは、この私がナンマンダブツナンマンダブツと申しているそのまんまに、南無阿弥陀仏

という仏様が、ナモアマミダブツの声の仏となつてこの私のところに来てくださり、この私の処に宿つてくださつておる。だからお念仏は尊いんです。なぜ尊いのか。私の持つているものではないからです。修行のように、この私ので仏様に近づいてい

いかなきゃならないのなら、僕だったら仏様とは正反対の方向にしか向かつていきません。しかしお念仏というのは私の持つているものではなく、ナンマンダブツナンマンダブツと申しているそのまんまに阿弥陀様という仏様がこの私に宿つて

## 本願名号正定業

もうかれこれ、このやり取り十年くらい続いてまして、一ヶ月に一回そのおばあちゃんのお家におまいりさせていたいただいておりまして、一年で十二回、十年で百二十回は、このやり取りをしていることになりました。お坊さんが修行しているというイメージは、世間一般では強いようですが、とにかく、浄土真宗のお念仏というのは、この私がナンマンダブツナンマンダブツと申しているそのままに、阿弥陀様という仏様が、この私の処にナンマンダブツの声となつて宿つて下さっているお念仏なのだから、私の持つている徳ではなく、仏様のお徳を頂いているのがお念仏です。

てきたん？」そういわれましてから、僕はまた、「おばあちゃん、実は浄土真宗に修行は無いんですよ。修行は無いんだけど修行に勝るお念仏がある。これが浄土真宗です。修行というのは何かというと、・・・と

いつて始まるんです。

24時間いつでもどこからでも法話が聞けます

和歌山教区内テレホン法話開設寺院

鷲森テレホン法話

073-422-0243

おにしさん

こころの電話(海南組 西光寺)  
ヤングこころの電話(同上)  
こころの電話(御坊組 専福寺)

TEL.073-487-2430  
TEL.073-487-0404  
TEL.0738-44-0874

鷲森テレホン法話(3分法話)  
みなさまからのお電話お待ちしております。

# 親鸞聖人750回大遠忌法要 企画



# 祖蹟と点描

> 3

得度の戒師・慈円僧正  
おほけなく うき世の民に  
おほふかな わがたつ袖すそ  
に 墨染の袖

(『千載集』 雑中一一三七)

法性寺関白藤原忠通の息  
男で九条兼実の実弟にあたる  
慈円僧正の歌です。比叡  
山に登ったばかりの若かり

し慈円僧正が、「身の程知  
らずのことだけれど、これ  
からこの比叡山に住んで、

開祖最澄の意志を継ぎ、荒  
れ果てた末法の世の人びと  
を、仏法の墨染めの衣で包  
み込んで救済し、心安らか  
に暮らせるようにしよう。  
それが私の使命なのだから」  
との意気込みを詠まれたの  
です。

恵信尼公のお手紙に「殿の  
比叡の山に堂僧つとめてお  
はしましける」とあること  
や、『親鸞聖人伝説』の「楞  
嚴横川の余流を湛えて」の  
詞書から、横川の常行三昧  
堂の堂僧として修行を重ね  
ておられたようです。

ある年の七月三十一日、西  
塔の常行堂を訪ねたことが  
ありました。まさに明日か  
ら(修行は八月〜一〇月の  
三カ月間に行われます)行  
法に入ろうという若い修行  
僧と面談がかない、不安と  
期待に入り交じったその面  
貌を拝し、心から見仏成就  
を念じたことでした。

## ご本尊を巡り 昼夜絶えず念仏唱え 山上修行20年 法然上人との出会い

養和元年(一一八一)、

常行三昧の行法

九歳の親鸞聖人はこの慈円  
僧正のもとで剃髪すること  
になります。聖人もまた、  
戒師と同じお気持ちで山に  
登られたことでしょう。慈  
円僧正は時に二七歳、後に  
四度も天台座主に就任され  
ます。  
山上の親鸞聖人は、伝承  
では、東塔大乘院で回奉行  
をされたとも、横川首楞嚴  
院で不断念仏を修されたとも  
いいますが、聖人の妻・

この堂僧の主だった修行  
は、常行三昧堂で九〇日を  
限り、本尊阿彌陀如来の周  
囲を巡りながら、昼夜絶え  
間なく口に念仏を唱え、心  
に阿彌陀仏を念ずるもので、  
この三昧が成就すると諸仏  
を目の当たり観することが  
できるというものです。そ  
の凄絶さの故に一時絶えて  
いた荒行ですが、近年復活  
し、志願者があれば行われ  
ます。

「親鸞聖人は、はたして  
この修行をまっとうするこ  
とができたのだろうか。」  
聖人が六角堂参籠の往返  
に駆け巡られた雲母坂を、  
たどたどしい足どりで下り  
ながら、ふとそんなことを  
思いました。見仏がかなっ  
ていたなら、今の聖人はお  
られなかったかもしれな  
いと思っただけです。  
山上修行二〇年。二九歳  
の親鸞聖人は比叡山を離れ、  
吉水の法然上人を訪ねるこ  
とになります。  
(龍谷大学非常勤講師  
岩谷教授)

# 親鸞聖人750回大遠忌法要

## キッズサンガ 児童念仏奉仕団

親鸞聖人750回大遠忌法要の少年を対象とした行事「子どもつどい」が7月25日から30日まで、1泊2日の日程で3回にわたって行われた。全国から5400人の小・中学生が参加し、元気よく大遠忌法要への参拝、本山の清掃奉仕、レクリエーションなどを楽しみ、広い境内や門前町一帯は喜びに包まれ子どもたちの大遠忌でにぎわった。

和歌山教区少年連盟では、7月29日から30日の二日間、京都の本山本願寺で開催された子どもつどいに、和歌山教区内の各地から、総勢125人の児童・引率が参加した。

この行事は、親鸞聖人750回大遠忌法要への参拝と清掃奉仕や楽しい行事を通して、本願寺に親しむとともに、子どもたちに阿彌陀さまと親鸞聖人にであってもらう、ご縁づくりの場として開催されたもので、例年開かれていた児童念仏奉仕団と、宗門を挙げて取り組んでいるキッズサンガの願いを含んだ行事として開催された。

通して、本願寺に親しむとともに、子どもたちに阿彌陀さまと親鸞聖人にであってもらう、ご縁づくりの場として開催されたもので、例年開かれていた児童念仏奉仕団と、宗門を挙げて取り組んでいるキッズサンガの願いを含んだ行事として開催された。

初日は、ご縁まち(門前町)を廻るウオーケラリーや、清掃奉仕で汗を流し、夜の「今日の宵あそび」では、夜店が出店され、暑さを忘れ楽しいひとときを過ごした。

2日目は、日本全国より集まった子どもたちが、御影堂において親鸞聖人七百五十回大遠忌法要を音楽法要でお勤めした。

参加した子どもたちからは、「はじめは不安だったけど、2日間楽しくすごせて良かった」、「宵あそびが楽しかった」、「また来年も来たい」などの声が聞かれ、50年に一度の「子どもたちの大遠忌」が終わった。

# 子どもたちの大遠忌

## 境内一帯に元気な声あふれる



①



②



③



④

写真 両堂渡廊下清掃 法要参拝 昼食 門前町クイズラリー

### 大遠忌法要

いつでも参拝できます 団体参拝以外に個人並びに少人数グループでも参拝できます。

ご家族等で大遠忌への参拝を希望される方は、事前にハガキ・FAXまたは、メールでお申し込みいただきますと、座席が確保されますので、ご利用ください。詳しくは、左記アドレスのホームページをご覧ください。

事前申込のない場合においても当日参拝が出来ますので、直接龍虎殿で受付を行ってください。

また、僧侶の皆様には結果・列衆出勤を広く募集しております。

類聚衣体の貸し出しも行われますので、このご縁に是非ご出勤ください。詳しくは教務所・本願寺まで。

参拝センターアドレス

<http://daionki.hongwanji.or.jp/sanpai/zizen.php>

### 喜びの声ぞくぞくと

細川皓生(小3) 舞台の下にミズガメが埋まっていると聞いてびっくりしました。

辻 優作(小3) 宵遊びが楽しかったです。

広井千鈴(小3) 宵遊びが楽しかったです。パフォーマンスを見せてくれる人も来てくれていて、楽しかった。

宮下瑛伍(小5) 宵まつりがとても楽しかったし、ホテルでみんなである時も楽しかった。お勤めはちょっと難しかった。

広井志哉(小5) 宵遊びは、とつても楽しかった。割り箸や射的は面白かった。1度作ってみたいなあと思った。

辻 哲平(小5) 楽しかったので、来年も行けたらいいなと思いました。特にスタンブラリーが楽しかった。

白樫若奈(小5) 29・30日はとてもいい思い出になりました。一番楽しかったのは、門前町クイズラリーでした。とても楽しかったです。

菅原稀香(小5) キッズサンガに2日間参加させてもらって、とても楽しい思い出ができました。

京都が好きになりました。ありがとうございました。

菅原美和(引率) 子どもたちと共に、親鸞聖人750回大遠忌法要に遇わせていただき、有難いご縁でした。暑い中ご苦労されたスタッフの皆様方に感謝いたします。良い思い出が出来ました。有難うございました。

中村美裕(小5) 宵遊びが楽しかったです。また、来年も行きたいです。

# 第18回 平和を希う念仏者の集い

## いのちの尊厳を守る取り組み

第18回「平和を希う念仏者の集い 全戦没者追悼法要」が7月9日に鷺森別院本堂で開催された。参加者は350人。

今回は、全戦没者追悼法要とあわせて東日本大震災で犠牲となった方々への追悼法要としても勤修された。「宗教と平和」と題して大阪芸術大学短期大学部講師神戸修さんの記念講演があった。



### 『正信偈』講座開催

6月30日、鷺森別院で家族人会連盟主催の正信偈講座が開催された。講師は勤式振興会世話人の島和夫さん。参加者は37人。参加者からは「日常の疑問点がよく理解出来た」と好評であった。

### 基幹運動推進 事前研修会を開催

和歌山教区基幹運動推進委員会では、7月27日、事前研修会を鷺森別院ホールで開催。60人が参加した。この研修会は各組で同朋運動推進僧侶寺族研修会(以下僧研)と門信徒会運動研修協議会を開催するために

スタッフや講師陣が、開催趣旨などを確認する場として開かれた。

宇野哲哉中央基幹運動推進相談員から特に門信徒研修協議会の課題テーマとして追加された「男女共同参画の実践」について説明。



僧研では、今年度は第期の最終年度になり、総決算として取り組むことになる。各設定テーマは次の通り

「門信徒会運動研修会」

寺院・組における男女共同参画の実践。

これからの伝道のあり方と実践。

いずれかを選択。「僧研」の統一テーマは、

「私にとつての御同朋のみ教えとは、親鸞聖人のみ教えに学び、御同朋の願いに応える運動をめざして」

### 全国真宗青年の集い 記念大会開催

8月6日・7日の2日間、京都の本願寺で、青年を対象にした「2011全国真宗青年の集い 親鸞聖人750回大遠忌法要記念大会」が開催され、和歌山教区からは8人が参加した。今年、全国の宗門校も夕食後から参加し、夜の集いでは、高校生をもてなそうと各教区仏教青年連盟が趣向を凝らしたブースを出展した。



### 「ビハーラ講座」開催

8月26日、ビハーラ和歌山が鷺森別院で「ビハーラ講座」を開催した。

ビハーラ和歌山会員で龍谷大学文学部教授の吾勝常行さんが、傾聴活動を考える「仏教とカウンセリング」と題し、本派のビハーラ活動の成り立ちから、まず人の話に耳を傾けていく、傾聴活動の重要性や、難しさなどについて講演。会員ら22人が参加した。



この講座は連続して3回行うもので、今回は第1回目。次回の日程は未定だが、多くの方々にビハーラ活動を知ってほしいと広く呼びかけている。

### ブロック別門信徒総研修会

各地で総勢850人が参加

和歌山教区基幹運動推進委員会では、今年度ブロック別門信徒総研修会を各地で開催した。8月27日には、第1ブロックと第3ブロックで開催され、第1ブロックは鷺森別院を会場に250人が参加した。「親鸞聖人の示された、われらのあゆみ」差別はあかん、絶対あかん」と題し、小川真理子さん(岐阜教区)が講義。女性の立場から見えてくる差別について話した。

第3ブロックの会場となった日高別院には250人が集い、「浄土のはたらき」と題し石崎博紋さん(大阪教区)が話された。

また、第2ブロックは9月17日に開催。大島信隆さん(大阪教区)が「お浄土のはたらき」と題し、ご法義を交え基幹運動の願いを話された。会場の海南市民交流センターには350人が集った。

### 中央相談員巡回

8月31日、次期基幹運動推進にかかる協議会―中央相談員巡回―を鷺森別院で開催した。各組から組長・組相談員をはじめ45人が参加した。前期後期それぞれ3年の現行総合基本計画が今年度で終了する。これを受けて中央基幹運動本部から中央相談員が、次期の運動推進計画の策定のために、各教区巡回をすることの要請を受けて開催。

協議会では、宇野哲哉中央基幹運動推進相談員から、

2012年度より施行される新宗法に伴う基本法規等の改正の遅れがでていることやこれまでの6カ年の経過や現在の基幹運動をとりまく現状について説明。

その後、参加者との全体協議会を行った。会場からは、名称の問題、次期運動計画の骨子が未だにできあがっていないことへ懸念の声、基幹運動の理念が歪められないよう希望する意見があがった。

この後、教区では企画常任委員会でこれらの意見をまとめ、意見報告書を提出していく。

### 10月23日(日)チャリティーコンサート開催

ギタリスト古川忠義さんが東日本大震災で被災された方々に希望を届けようと10月23日午後1時30分から鷺森別院の本堂で、東日本大震災チャリティーイベント「みんなのためにコンサート」を開催する。

今回は古川さんをはじめ「かりようびんが鷺森」や「エコー鷺森」らが出演する。チケット代 ひとり500円

### 新所長・輪番着任



7月1日付人事で前任地福岡教区から林安明新所長・輪番が着任した。所長(あいさつ)

7月1日付で和歌山教区教務所長・鷺森別院輪番に

### 報恩講各教化団体 研修会のご案内

11月24日から28日まで鷺森別院報恩講が勤修される。法要期間中には左記の通り各教化団体の参拝研修会が開催される。

- 11月24日(木) 寺婦連盟
- 25日(金) 門徒総代会
- 26日(土) 仏壯連盟
- 27日(日) 仏婦連盟

### 社推協主催 チャリティーバザー

本派社会福祉推進協議会和歌山教区支部では、11月27日の仏婦研修会終了後、鷺森別院の本堂にてチャリティーバザーを開催する。

このチャリティーバザーの収益金は社会福祉活動の就任いたしました。

親鸞聖人750回大遠忌の年に与えられた重責に想いを致しております。聖人の御勸化のままに共々に如来の真実義を学ばせていただき、教区発展のため微力を尽くしたいと存じます。

皆様の温かいご教導ご協力を賜りますよう、謹んでご挨拶申し上げます。

### 子どものつどい 子ども報恩講

来る12月10日に、鷺森別院で「子どものつどい」が開催されることになり、参加を呼びかけている。

毎年恒例の行事で、子どもたちが報恩講をお勤めし、引き続き、子ども会修了式、作品展表彰式などが開催される。お昼からは、「手袋を買いに」等の歌とお話しを鑑賞。

### 振興会50周年記念大会

詳しくは、少年連盟事務局まで。なお、開催要項は、近日中に寺院宛送付する予定。

財団法人同和教育振興会では、12月14日、設立50周年の記念大会を開催する。当日は午後から、本願寺阿彌陀堂にてご門主夫妻ご臨席のもと記念法要を勤修し、その後、同朋センターで記念シンポジウムを行う予定。

台風12号甚大な被害をもたらす

9月3日・4日に西日本に記録的豪雨をもたらした台風12号により被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々には哀悼の誠を表します。  
和歌山教区内においても紀中・紀南の寺院並びに多くの門信徒が被災しました。  
教区では、8日に救護物資の搬入と現地調査を行い、14日・15日に那智勝浦にボランティア第一陣を派遣しました。



今後もボランティアを派遣する予定で、参加者を募っています。

詳しくは、教務所まで。水害の被害状況等は次号に掲載予定。

## 教区だより

(10月~12月)

### 2011年10月

- 1日 仏社総会・研修会  
勤式講習会
- 20日 近同推寺婦研修会(～21日・兵庫)
- 31日 近畿ブロック寺婦研修会(京都)

- 21日 仏婦清掃奉仕
- 24日 寺婦研修会
- 25日 門徒総代会研修会
- 26日 仏壮研修会
- 27日 仏婦研修会  
社推協チャリティーバザー

### 11月

- 2日 布教団連続法座
- 5日 勤式講習会
- 17日 教区相談員研修会(～18日・本山)
- 21日 少年連盟委員会

### 12月

- 3日 勤式講習会
- 10日 子どもの集い(子ども報恩講)
- 14日 同和教育振興会設立50周年大会
- 27日 御用納め

## 別院だより

(10月~12月)

### 鷲森別院

#### 【別院こども会】

毎月第2土曜 午前10時～12時  
開催日 10月22日 12月24日

#### 【常例法座】

毎月15・16日 午後1時30分より  
10月 下間哲照師(東海教区)  
11月 石本龍憲師(東海教区)  
12月 中川紫月師(奈良教区)

#### 【報恩講】

11月24日～28日  
法要 24日～27日 午後1時30分より  
28日 午前10時より  
27日午後7時より御伝鈔拝読、午後9時より12時まで通夜布教

#### 【別院婦人会親鸞聖人750回大遠忌法要団体参拝】

10月14日

#### 【東日本大震災チャリティーコンサート】

10月23日

### 日高別院

#### 【常例法座】

10月20日 午後1時30分より  
経 智敬師(熊本教区)

#### 【報恩講】

12月4日～6日 午後1時30分より  
関島浄真師(大阪教区)

#### 【除夜会】

12月31日 午後11時30分より  
伊藤道雄輪番

### 得度

杉山龍法(和歌山北組永正寺)  
佐々木実結(紀南組専光寺)  
岩清水祐慈(海草組西方寺)  
岩清水成海(海草組西方寺)  
横出顕悟(和歌山北組教願寺)  
根井啓(和歌山組瑞林寺)

### 教師

鈴木玲(和歌山北組蓮乗寺)  
吾勝あかね(加茂組真教寺)  
北山覚(有田南組最勝寺)  
山本泰士(御坊組常照寺)  
亀井あゆみ(日高組長覚寺)

### 逝去

楠井覺暁(平成23年6月4日)  
(海南組西尊寺住職)  
柏木柳(平成23年6月26日)  
(御坊組光尊寺前坊守)  
藤範宏昭(平成23年8月11日)  
(和歌山北組照福寺住職)



ご生前のご活躍  
ご尽力に感謝申  
しあげ、謹んで  
敬申の意を表し  
ます。